

進路ジャーナル



青森県立森田養護学校
進路指導部 No. 10-2
発行日 R7. 11 7.

産業現場等における実習について



10月6日(月)から17日(金)までの二週間、高等部では、後期産業現場等における実習を行いました。1年生は、あーすとぴあでの清掃や農作業、校内実習、2年生と3年生はそれぞれの希望先で、個別実習を行いました。



I年生のI類型の集団実習は、つがる市社会福祉協議会森田支所(あーすとぴあ)へ行き、草取りや施設内外の清掃作業を行いました。窓清掃では、ウインドウモップやスクイジーを使いました。少しずつ使い方も慣れて、ピカピカに仕上げることができるようになりました。

II類型の生徒は、校内で午前中はフルーツネット返しやリサイクル作業、午後は牛乳パックのラミネートはがしや校内のモップ掛け作業に取り組みました。フルーツネットの作業は、慣れてくると手早く丁寧に作業を仕上げることができるようになりました。

前期の集団実習で得た成果と課題を受けて学習を積み重ねた成果を感じることができた実習となりました。事後学習では、今回の実習をしっかりと振り返り、卒業後の進路を考えていきます。



2、3年生の個別実習は、前期同様に就労継続支援事業所や一般企業に協力をお願いして実施しました。前期と同じ職場や事業所で実習をした生徒もいれば、後期は初めての場所で実習した生徒もいましたが、どの生徒も目標を達成することができるようそれぞれの実習先で仕事をすることができました。

3年生にとっては、卒業後の進路先を決めるととても大切な実習でした。卒業後、本当に働けるのか、自分に向いているのかということも考えながら働いた二週間でした。実習後の事後学習では、いただいた評価表と自分の気持ちを合わせ、卒業後の進路を決めていきます。